

携帯XHTML (2)

docomo対応のXHTML

iモードXHTML バージョン1.0～2.4まで

iモードXHTML バージョン2.0

iモードブラウザ1.0

2009年3月までに発売となった、ブラウザキャッシュ100KBまでのサイズに対応した機種

iモードHTML：1.0～7.2

iモードXHTML：1.0～2.3

iモードブラウザ2.0

2009年5月以降に発売となったブラウザキャッシュ500KBサイズ対応の機種

iモードHTML：1.0～7.2

iモードXHTML：1.0～2.4

au対応のXHTML

XHTML(WAP2.0) 全機種

SoftBank対応のXHTML

XHTML(XHTML Mobile Basic基準) 2006年10月以前の機種

XHTML(XHTML Mobile Profile1.2基準) 2006年10月以降の機種

絵文字

入力に関しては、iモードブラウザのバージョンによっても見れる見れないが分かれるので、バイナリ入力で入力した方がいい。

Softbankでバイナリコードで入力する場合は、コード\$GJの場合 $\wedge[\$Gj]\wedge O$

バイナリ入力支援ツール

OshimaExe (Windows用)

<http://memorva.jp/tool/soft/oshimaexe.php>

上記のツールを使えば、コピー&ペーストで絵文字をバイナリ入力で記述できます。

バイナリ入力とは、絵文字のままHTMLファイルに入力する仕組みです。

残念ながらMacには対応していません。

チェックポイント

- divにpaddingが効かない。 iモードブラウザ1.0

- キャッシュをオフにして常に新規読込にする。

キャッシュすると古いページのまま表示されるのを防ぐため

```
<meta http-equiv=#pragma" content="no-cashe" />
```

```
<meta http-equiv="cashe-control" content="no-cashe" />
```

- カラー指定は、必ず6桁のコードで。例：#000000

- body直下のdivで文字サイズを指定する。

bodyの文字サイズ指定は、docomoは対応していないため、ページ全体を覆うdivを作成し、font-sizeを指定する。

- au、SoftBank用に外部CSSを読み込ませてもいい。docomoは無視される。

- <div style="display:-wap-marquee;">

マーキーはこのような書き方で。

```
</div>
```

- font-weightは効かない端末があるので、太字はstrongを使うようにする。

- auでは、divの下に1ピクセルの隙間が空く。divを入れ子にして防ぐ。

- auでは、option要素内の文字が端末によって折り返されるので、font-size:x-smallを指定する。

- 水平線の仕様

```
<hr size="1" style="width:100%;height:1px;margin:2px 0;padding:
```

```
0;color:blue;background:blue;border:1px solid blue;" />
```

- ドコモ

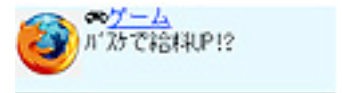
XHTMLではすべての属性に非対応

- ソフトバンク

- ・ けい線の上下にマージンがとられる
- ・ hrの余白調整はmargin/paddingプロパティで対応可能

- au

- ・ ライン色はcolorプロパティで対応
- ・ au以外のキャリアのライン色はbackgroundプロパティで対応
- ・ heightプロパティは非対応（size属性で縦方向の長さを指定）
- ・ borderプロパティは非対応（au以外はけい線の境界線を指定可）



- ・ text-alignプロパティはauのみ対応（au以外はalign属性を使用）

- 文字の左寄せ・右寄せ・中央合わせは以下のように

```
<div style="text-align:right;">  
  <a href="test.html">もっと見る</a>  
</div>
```

- 画像の文字回り込みは以下のように

auでは一部floatが対応していないので、divにfloatは避ける。

```
<a  
href="game.html">ゲーム</a><br />ハ スクで給料UP!?!<br clear="all" />
```

- 携帯サイトは文字でデザインするといっても過言ではなく、改行せずに画面いっぱいに表示できる文字数は決まっているので、できる限り文字を短くし、他と文字数が揃うように調整してやりながら、全体としてみたときに上手く調和がとれている必要があります。